

令和元年7月1日

都道府県配置協議会・協会代表 殿
生産県配置団体代表 殿

一般社団法人全国配置薬協会
配置部会長 河上 宗勝
配置部会資質向上対策委員長 井筒 大勝
(押 印 省 略)

「登録販売者の資質向上のあり方に関する研究」報告書について

標記の件につきましては、平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金による「医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業」の分担研究として実施され、今年2月に厚生労働行政調査事業分担研究者より協力要請を受けて、「登録販売者の外部研修実施機関向けのアンケート」及び「登録販売者の研修に関するアンケート」が実施されたところですが、この度、その報告書（別添）が本会宛に寄せられましたので、送付いたします。

アンケート結果等を基に以下の課題が示されておりますので、内容をご確認いただき、今後とも登録販売者外部研修の実施機関として、適正な研修実施と受講促進を図っていただきますようお願いいたします。

記

1. 店舗販売業者等の課題

- 登録販売者が第2類及び第3類医薬品の販売時に情報提供を積極的に行っている姿勢は確認できたが、セルフメディケーションが進む中で、医薬品の専門家として、情報提供の内容についても考慮しつつ、適切な情報提供が行われるべき
- 登録販売者の研修内容は、ほとんどの店舗販売業者等が把握しているが、研修の習得状況や効果が販売に活かされているのかは把握していない
- 登録販売者による副作用報告義務は、ほとんどが認識しているものの、報告実績は少なく、医薬関係者として副作用報告に関わることを認識すべき

2. 外部研修実施機関の課題

- 登録販売者外部研修実施ガイドラインが遵守されるよう、さらに周知徹底すべき
- 研修受講者の受講情報がどの程度、正確に、継続的に管理されているのか確認すべき

3. 監視等の課題

- 研修実施機関がガイドラインへの遵守状況について自主点検を行うとともに、毎年度、実施する研修の概要を自治体に届け出て、チェックすることが必要

4. 今後の課題

- 店舗販売業者等は登録販売者の情報提供の内容等を把握し、より効果的な情報提供のための研修につなげていくことが必要
- 店舗販売業者等が自主的な要件を課して「管理者」の資質を確保することが必要
- グループワークやコミュニケーション演習など新しい研修方法を取り入れることが必要
- 団体に加入していない事業者（登録販売者）への周知徹底も課題

以上